

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	03	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	01	未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	05	学校給食
事務事業名		02	学校給食運営事業
		根拠法令・例規等	学校給食法
		問 担当課(室)	学校教育課
		合 職・氏名	学事係長・朝倉健
		先 電話	64-1840
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	小・中学校児童生徒
目的(何のために)	安全で栄養のある給食を提供する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	給食に従事する職員が健康な状態で安全な給食を提供することができるようにするとともに、研修会や情報交換を通して資質の向上を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	学校給食運営事業	調理員の腸内細菌の検査実施及び保存食費の負担	
	食育推進事業	岡山県教育委員会からの指定による、吉永中学校での調査研究事業の委託金管理及び指導事務	
	市学校給食会運営支援事業	栄養職員、調理員、学校代表、保護者代表で組織する備前市学校給食会の活動への指導助言	
	市学校給食会補助事業	備前市学校給食会の事業実施補助金に関する手続き事務	
	全国研究会参加負担金事務	学校栄養職員が研修のため参加する全国研修会の資料代等の負担金支払い事務	
	県学校給食共同調理場連絡協議会負担金事務	岡山県学校給食共同調理場連絡協議会に対する負担金支払い事務。	
	学校給食振興期成会負担金事務	学校給食振興期成会に対する負担金支払い事務。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
研修会1回当たりの参加人数	目標値(A)	20	20	20	20
	実績値(B)	23	21.9	20.5	到達目標値
	達成率(B/A)	115.00%	109.50%	102.50%	毎年20人以上
成果指標設定の考え方・式や説明					
学校給食に係る研修会参加延べ人数 / 研修回数					

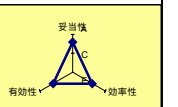
事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>B</b>
	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>C</b>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>C</b>

留意事項の目的やその数値目標を定める成果指標

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	安全で安定した学校給食の提供のため、本事業は継続的に実施していく必要がある。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		2,395	3,453	3,352	
	必要人員(人件費)	千円	0.02人	178	0.10人	822
	事業費		2,573	3,453	3,394	
	国県支出金			917		
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源			2,395	2,536	2,478	
受益者負担比率	%		0.0%	0.0%	0.0%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
職員研修参加延べ人数	説明	市学校給食会等が実施する研修に参加した職員の延べ人数				
結果指標量	人	329	285	266		
対前年比	%	86.6%		93.3%		
活動コスト	円	51,000	40,000	40,000		
単位当たりコスト	円	155	140	150		

総合評価	
食への関心が高まり、食育の推進が求められる中、学校給食のより良い在り方を検討する市学校給食会を支援し、学校給食に携わる職員の資質向上を図ることは大切である。また、給食に携わる職員の腸内細菌検査を実施することは法的に位置づけられており、必須の事業である。	評価区分 <A-E> <b>C</b>



平成24年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	学校給食法に基づいて実施しており、食の安全への関心及び食育についての関心が高まる中、本事業は継続的に実施していかなければならない事業である。					